

平成14年11月5日

学生赤十字献血推進連盟副会長 官本君代

検討会委員各位

まず、私の所属している学生赤十字献血推進連盟の主な活動内容として、夏と冬のキャンペーンがあります。連盟役員がキャンペーンの準備をして献血バスを呼び、学生ボランティアによって呼び込み、受付を行っています。

製造供給体制に対して献血者の意見として、「赤十字は血液を一般企業に売っていて信用できない」と言った人がいました。「売っている」という事実があまり一般に知られていないこと、また、それに関する情報が少なすぎることから、何も知らない人が「信用できない」と聞けば鵝呑みにせざるを得ません。結果的に賛成反対意見が出たとしても、各個人において是非を考えられるだけの情報を発表するべきだと思います。

今現在の私の意見としては、人が善意のみで動くには限りがあるのだから、金を介在してでも切磋琢磨できれば良いと考えています。しかし、この意見に根拠を持ったり、もっと深く考えるには情報が足りなすぎます。血液をいくらで売っているのか、何故その値段がついたのか、どのように金が使われているか等の情報を知りたいです。それによっては、また意見が変わってきます。